

若松かねしげ四季報(冬季)

参議院議員・公認会計士・税理士 若松謙維

2018年10月6日～12月31日

10月24日召集された臨時国会は、12月7日夜を徹しての審議が続き、翌日午前4時、参議院本会議で新たな外国人受入のための入国管理法改正法案が成立し、会期延長は回避され、10日に幕を閉じました。明年10月の消費税引き上げに伴う景気対策のため、税制改正、2次補正予算等、政府与党は年末まで重要課題に対応しています。

各地で、来年7月参議院選改選に向けたポスター張り、DVD視聴、元気アップニュース配布などの支援の輪を広げていただき、本年一年間大変充実した活動ができました。衷心より厚く御礼申し上げます。

明年は、新天皇即位に伴う諸行事、12年ぶりの統一地方選と参議院選のダブル選挙、G20の国内開催等で忙しい毎が続きますが、一期一会の思いで拡大の戦いを貫いて参ります。

1. 政 局

(1) 会期延長なしの臨時国会

10月24日召集された臨時国会では、予算委員会で新任大臣の片山さつき地方創生担当大臣や桜田義孝オリパラ担当大臣に批判的な質問が集中しましたが、西日本豪雨災害や北海道胆振東部地震等の災害対策を盛り込んだ補正予算はスムーズに成立しました。

しかし、新たな外国人材受入のための入国管理法改正案の審議が始まると、法務省が提出した技能実習生の逃亡失踪のデータの間違いが野党の攻撃材料となり、法案質疑開始に時間を要しました。しかし、衆議院法務委員会で審査が始まると委員長解任決議案否決等に日程を費やす日々が続きましたが、大島衆議院議長のあっせんもあり、最終的には約17時間の質疑で採決され、参議院に法案が移りました。予想以上に衆議院通過に時間を要し会期延長の動きも一時ありましたが、官邸の強い意向を受け会期延長なしの方針を決定し、参議院法務委員会で審議入りとなりました。

参議院法務委員会では、総理入り質疑、日本語学校視察等、野党の要求をすべて受け入れ、20時間を超える審議を行った横山信一委員長に野党は解任決議案を提出するなど、会期末では立憲民主党を中心に徹底した抵抗戦術が取られました。

この結果、12月7日の1回目の参議院本会議では法務委員長と農水委員長の解任決議案を否決し、2回目の本会議は法務大臣問責決議案の否決、第3回目の本会議は安倍総理大臣問責決議案否決、そして、第4回目翌日となり、入国管理法改正案を含む15法案の採決が終了したのが午前4時となり、最終日の閉会手続きを行う10日の委員会と本会議では、与野党ともに疲労感漂う臨時国会閉幕となりました。

(2) 消費税増税対策と平成31年の政局

過去2度の消費税率アップ時に起きた消費減退による景気低迷を回避するため、大型耐久消費財の住宅や車の消費平準化策などの景気対策を盛り込んだ税制改正大綱、平成30年度第2次補正予算(2兆7097億円)及び平成31年度予算(101兆4564億円:初の100兆円超)の閣議決定が12月21日に行われました。

同時期に、沖縄の米軍普天間基地の辺野古移転工事再開放映と世論調査が重なり、安倍政権への支持率が下がる傾向を見せました。安倍総理は1月早々に英国、オランダ訪問、21日はプーチン大統領との会談が予定され、6月末のG20まで領土問題解決、そして平和条約を締結できるか、重要な外交日程が目白押しです。国内では4月30日天皇陛下退位、5月1日新天皇陛下即位関連行事など、重要行事が続く一年となりそうです。

現在、1月28日を軸に通常国会が召集される予定です。国会会期中は立憲民主党の支持率が上がる傾向の中、4月の統一地方選の結果がどうなるか、6月末の国会閉会後の参議院選で野党共闘がどの程度になるか、来年は12年に一度の統一地方選と参議院選を中心に、激しい与野党攻防が続くことが予想されます。

2. 参議院委員会・国会活動・党務

(1) 委員会質疑

① 予算委員会(災害補正予算審議)

今年起きた西日本豪雨災害、北海道胆振東部地震等の対策のため編成された1次補正予算案の参議院予算委員会審議が、11月5日TV入りで行われました。私は北海道胆振東部地震発災直後から現場に急行し、そこで得た課題等を中心に安倍総理以下5大臣に質問しましたが、災害補正予算と命名されながら私以外に災害中心の質疑を行った議員はいませんでした。災害が頻発する「災害意識社会」での防災士等の災害専門家の行政機関等への設置義務化を訴え、多くの共感を得ました。(議事録添付)

② 総務委員会

5年ぶりに総務委員会に戻り、長年研究してきた「地方税の偏在是正」について、11月22日の総務委員会で、東北・北海道と東京が人口約1,300万人と同規模ながら、自主財源が3千億円対2.4兆円という格差の実態を訴え、あるべき地方税の姿を提示しました。その結果、税制改正大綱で4,200億円を都から地方へ譲与される制度が実現し、自主財源不足に悩む地方の声を代弁することができました。これは、私が総務副大臣時代に提案した国から地方へ税を委譲する三位一体改革に次ぐ税に関する大改革と確信します。(議事録添付)

(2) 石井国土交通大臣陳情

石井国土交通大臣には全国からの陳情に対応する多忙な中、災害対策要望として10月16日秋田市長、11月19日宮古市長、21日山形県知事の際には県内高規格道路整備の早期化要望を受けていただきました。

(3) 公明党税制調査会

公明党税制調査会副会長の私は、地方税の偏在是正、災害税制拡充、償却資産の申告の簡素化の3点をテーマに、11月21日のキックオフから12月12日までの期間、5回の会議に出席し7回発言しました。特に前述のTV入り予算委員会では東北税理士会から特に要望の強かった災害損失控除繰越期間の延長を含む災害税制拡充を取り上げ、大きな反響がありました。

3. 国会外党務等

(1) 東北方面幹事長党務

東北6県及び北海道の主な活動を報告します。

〔福島県本部代表業務〕

10月11日、福島県知事選告示日に公明党県代表として激励の挨拶をしました。

10月19日、いわき市内で高木陽介前経済産業副大臣と双葉郡6商工会会長との意見交換会を設定し、現場主義の公明党に対する強い期待感を実感しました。

10月21日は県本部大会が郡山市で開催され、県代表再任を受けました。その後、各地で総支部大会が開催され、私は11月4日会津及びあぶくま、21日福島の総支部大会に出席。

12月1日、吉野まさよし衆議院議員（福島5区）議員活動30周年の祝賀会がスパリゾートハワイアンズで開催され、吉野議員は私が候補者となる来年参議院選比例区への支援要請を強く訴えてくださいました。

12月8日、日銀福島支店長を県本部議員研修会に迎え、福島経済の課題について講演をしていただきました。

12日、公明党がん対策本部長の秋野公造参議院議員と、福島県立医大（福島市）及びBNCTを有する南東北病院のがん治療先端技術センター（郡山市）を視察しました。

〔青森県本部〕

10月21日、青森市議選告示日には渡部伸広候補の第一声応援演説を行い、最終日の27日は4候補全員の応援に駆けつけ、全員当選させていただきました。

12月9日、十和田市議選告示日には、新人と2期目挑戦の候補者二人の応援演説を行い、締め切り数分前に定員1名超となる立候補者が現れ選挙戦となりましたが、支持者の懸命な拡大により、5位と6位の上位当選をさせていただきました。

〔秋田県本部〕

11月30日、中央大学OB会（白門会）総会が秋田市内で開催され、来年参議院秋田選挙区で戦う中泉松司参議院議員と一緒に参加させていただき、柴田支部長から選挙区中泉、比例区若松必勝のエールをいただきました。

12月19日、秋田県高齢化率トップ3の五城目町、上小阿仁村、藤里町を含む6町村を訪ね、それぞれの首長から課題と要望をお聞きました。

〔岩手県本部〕

12月9日、岩手県本部恒例の政経懇話会（盛岡市）に斉藤幹事長が初めて出席し、参議院岩手県選挙区の平野たつお予定候補と私が2度一緒に壇上に上がり、自公闘を



アピールさせていただきました。

〔山形県本部〕

10月28日、山形市で開催された県本部大会に出席後、蔵王山頂のアオモリトドマツのキクイムシの被害視察を行いました。

11月17日は大沼みずほ参議院議員（鶴岡市）の後援会発足式に出席、12月16日は鈴木憲和衆議院議員（東根市）の外務大臣政務官就任祝賀会に出席し、土田東根市長、鈴木代議士、来賓の額賀福志郎代議士から来年参議院選比例区への力強いエールもいただき、その後の会場内周りでは多くの声援をいただきました。

12月24日、山形市で「第5回自民党公明党国会議員を囲む会」が開催され、山形県選挙区の大沼みずほ参議院議員と比例区私を激励していただき、また、自民、公明両党の山形県議予定候補者の挨拶もあり、「異体同心」で大勝利をとの呼びかけで終了しました。

27日は、大口よしのり厚労副大臣と、利用者全員の機能向上の個別メニューを作成し、大きな成果を上げている天童市の介護施設「つるかめ」と酒田市の日本海総合病院の地方自治体病院改革を視察しました。

〔宮城県本部〕

10月18日は庄子賢一県議、12月2日は多賀城市の根本あさえ市議、5日には真山祐一前衆議院議員のパーティに出席させていただきました。

総支部大会では、10月24日宮城野、若林、太白各区、25日泉区、27日塩釜、31日石巻と集中的に開催していただき、国会会期中でも多くの会合に出席できました。

11月27日は横山えつこ大崎市議の支部会に出席し、じっくり質疑応答ができました。

〔北海道本部〕

広大な北海道を短期間で廻り多くの人に会えるようにと、10月14日は道本部大会（札幌市）での決意発表を皮切りに、時局講演会を10月15日苫小牧、22日旭川、29日砂川、11月25日は釧路で総支部会をそれぞれ開催していただき、多くの企業関係者にお会いできました。

10月13日は佐藤英道衆議院議員（札幌市）、11月10日は横山信一参議院議員（札幌市、石狩市）の政経セミナーに呼んでいただきました。

11月26日午前中は菊谷伊達市長同行のもと介護障害者施設を視察、昼は商工会議所主催の勉強会で政府の未来投資戦略の講師役を担い、夕方は市長後援会役員との懇親会に参加し、大変充実した一日となりました。

12月14日は猛吹雪の中、超重点区札幌市北区の中野渡道議の応援に駆け付け、15日は江差、せたな、八雲で、16日は木古内で国政報告会を開催していただきました。

（2）後援会・セミナー活動、その他

① 税理士後援会

11月2日、所属する郡山税理士会役員の皆さまに作って頂いた「税理士による若松かねしげ後援会」総会を開催していただき、明年の参議院選比例区必勝を誓い合いました。

② 未来投資戦略研究会

本年6月から始めた未来投資戦略研究会は、11月1日花巻、6日北上、8日仙台、9



日八戸、11月16日五所川原で開催し、東北4県で15か所、600人以上の経営者に参加していただきました。

③ 上尾市国政報告会

10月5日、毎年恒例の国政報告会を上尾市で開催し、参議院埼玉選挙区の矢倉かつお参議院議員にも出席していただき、会場限度となる150人全員により、来年参議院選必勝の応援合戦となる国政報告会となりました。

④ 会津セミナー第3弾

11月29日、「会津からの挑戦」と題して会津セミナー第3弾が開催され、今回も500人近い参加者がありました。会津若松中央病院主催の当企画のおかげで会津の未来の姿が明確になり、私はこの日のセミナーで「会津若松未来都市宣言」を提案しました。

⑤ スマートシティと東日本新エネ社会構想

10月18日、竹谷とし子CPA応援隊役員による朝会が開催され、その場で来年参議院選比例区予定候補者の私を支援決定していただき、12月10日開催した「スマートシティ東日本未来戦略セミナー」に全面協力の約束をいただきました。当日は山口なつお公明党代表をお迎えし、竹谷とし子参議院議員が司会をしてくださり、200人の公認会計士を含む800名近いビジネス関係者に参加していただきました。

⑥ その他の事業

10月11日、福島県広野町主催の国際フォーラムが開催され、長年、広野町復興に関わってきた元復興副大臣として、パネリスト参加をさせていただきました。

10月26日、会津地方で盛んな無尽の一つ「会津がんこ倶楽部」で、私の未来投資戦略を聞いていただきました。会津市政を市民の立場から支える有力者の会で、有意義な意見交換ができました。

11月10日、札幌市でDPI日本会議が開催され、私は公明党を代表し、障害者権利条約締結から国内関連法に公明党が一番深く関与してきた経緯を紹介し、主催側から公明党の貢献を高く評価する声もいただきました。

11月18日、23回目の参加となる上尾シティマラソン5kmの部に出場しました。昨年より40秒遅い27分43秒でしたが、60歳台参加者164人中40番であり、65歳まで30分以内を目指し走り続けます。

5. 若松事務所の現況報告

①国会事務所（恩田政策秘書、菊地私設秘書）

恩田さんと菊地さんがサポートしています。

*東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館1207号室

Tel:03-6550-1207 Fax:03-6551-1207

②福島事務所（佐藤公設第1秘書）

佐藤秘書外出時、中大先輩の保坂さんが事務所を守っています。

*福島県福島市浜田町4-16富士ビル1階

Tel:024-572-5567 Fax:024-572-5587

③青森事務所（相馬公設第2秘書）

相馬さんが、青森県と秋田県を走りぬいています。

*青森県青森市大野字山下150-14（公明党青森県本部内）
Tel:017-764-6450 Fax:017-764-6460

④盛岡事務所（太田私設秘書）

太田さんは岩手県担当私設秘書として、広大な岩手県内で支持者拡大に尽力しています。

*岩手県盛岡市茶畑2-10-8ササエイビル2階（公明党岩手県本部内）
Tel:019-656-7761 Fax:019-656-7762

⑤上尾事務所（資金管理団体＜市民フォーラム＞）の活動拠点であり、妻がサポートしています。

*埼玉県上尾市仲町1-4-16
Tel:048-777-3515 Fax:048-777-3516

以上